

バイオマス産業都市構想の概要(令和6年度選定)

目 次

- ・ 神奈川県は だ の し秦野市 2



神奈川県秦野市



0 250 500
km

秦野市バイオマス産業都市構想の概要

神奈川県秦野市、人口 約16万人、面積 約1.04万ha

構想の概要

本市に賦存する林地残材、食品残渣や下水汚泥といった多品種少量のバイオマスを活用する6つの事業化プロジェクトを市民や事業者の有機的な連携のもと推進し、脱炭素社会と循環型社会の構築を目指したまちづくりを目指す。

1. 将来像

- ① 秦野産材の活用
- ② 木質未利用材の活用
- ③ 再生可能エネルギーの活用
- ④ 堆肥化(既存事業の拡充)
- ⑤ 産学公民連携の推進

2. 目標(10年後)

廃棄物系バイオマス

厨芥類(事業系一般)	: 0%→ 80%(メタン発酵ガス化発電の原料)
厨芥類(給食残渣)	: 33%→ 86%(メタン発酵ガス化発電、堆肥の原料)
食品工場残渣	: 66%→100%(メタン発酵ガス化発電、飼料の原料)
製材端材	: 99%→ 99%(熱・発電の原料)
脱水汚泥	: 0%→100%(メタン発酵ガス化発電や肥料の原料)
乾燥汚泥	: 29%→ 71%(燃料販売量の増や肥料の原料)

未利用系バイオマス

林地残材・間伐材 : 65%→ 70%(熱・発電の原料(チップ化))

3. 事業化プロジェクト

- ① 秦野産木材の面的利用促進プロジェクト
- ② 木質バイオマスボイラー更新プロジェクト
- ③ 木質燃料の面的利用プロジェクト
- ④ 木質バイオマス利用設備導入プロジェクト
- ⑤ 下水汚泥等の肥料利用研究プロジェクト
- ⑥ メタン発酵ガス化発電事業プロジェクト

4. 地域波及効果

- ・経済波及効果:287億円、就業誘発人数24人(新規雇用)
- ・化石燃料代替量(熱):6.56MJ/年
- ・CO₂排出削減量:229.6 t-CO₂/年
- ・災害時の燃料(薪)供給量:685.3t/年
- ・災害時の電力供給量:21,500kWh/日
- ・森林保全・里地里山の再生・生物多様性確保に向けた間伐の推進:685.3t/年
- ・交流人口増加、各主体の協働(環境活動、環境意識向上、環境教育)

5. 実施体制

市が主体となる「秦野市バイオマス産業都市構想専門部会」において、本構想の全体進捗管理、各種調整等を行う。

また、民間事業者が主体となる事業化プロジェクト等については、ステークホルダー等を構成員に加えた新たな部会を発足させ、市民意見や有識者等から知見を取り入れながらプロジェクトの推進に必要な理解醸成や透明性の確保に努める。

6. その他

＜主な関連計画＞

- ・秦野市総合計画(はだの2030プラン)
- ・第3次秦野市環境基本計画
- ・秦野市再生可能エネルギーに関する基本指針
- ・秦野市地球温暖化対策実行計画

秦野市バイオマス産業都市構想

多品種少量の都市近郊型バイオマス産業都市
～地元で生まれたバイオマスを経済循環サイクルに乗せて暮らしの活力に還元していく～

